

# スポーツ振興で連携

## 袋井市の協会と静岡理工科大協定 若い力に期待

袋井市スポーツ協会と静岡理工科大協定 若い力に期待  
（伊藤秀隆会長）は22日、地域のスポーツ振興を目的とした連携協定を、静岡理工科大（野口博学長、同市豊沢）と結んだ。エコパスタジアム（同市愛野）を試合会場とする2019年のラグビーワールドカップ（W杯）日本大会や20年東京五輪な

どの大型イベントに向けて、地元若者との結び付きを強め、活動の活性化を図る狙い。  
同大で調印式が行われ、伊藤会長と野口学長が協定書に署名した。同協会が大学と協定を結ぶのは初めて。

伊藤会長は「連携」の例にラグビーW杯や協会主催の運動教室な

「見る」「支える」の3要素がある。行動力のある学生にそれらを担ってほしい」と話した。野口学長は「ボランティアで地域に貢献する力が育てられるはず」と期待を込めた。



協定書を交わす伊藤会長（左）と野口学長  
＝袋井市豊沢の静岡理工科大